

金山町議会だより

第230号

令和7年8月7日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字110字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔6月定例会 6月13日～17日〕

- ・6月定例会議案審議……………2
- ・議案審議結果一覧・お知らせ……………3
- ・一般質問 6人が登壇……………4～9
- ・議員管外視察報告……………10
- ・両沼地方町村議会議員大会……………11

合併70周年を記念して
KANHEYAMA町民ウオーキング開催(6月14日実施)

6月定例会

6月定例会は、6月13日から17日にかけて開催され、一般会計補正予算・財産取得など12議案、報告3件、議員提出議案3件が提案され、原案の通り可決されました。

一般質問は、6人の議員により行われました。

●補正予算（議案審議）

一般会計

地方債補正

緊急防災・減災事業債の充当率と交付税措置率は。

答 総務課長 充当率は100%です。交付税措置率は償還に対する7割が交付税措置として、基準財政需要額に反映されます。

※緊急・防災事業債とは・
町が実施する公共事業に必要な資金を調達するために発行する地方債（借金）の一つです。この地方債は東日本大震災を教訓に、全国レベルで防

災・減災対策を早急に進めるために創設されました。消防や防災力を強化するための事業などを実施する場合には有利な財源となります。

一般会計・歳出

公共施設整備基金

問 4,500万円の積立金。理由は及び用途は。
答 総務課長 公共施設の改修・解体等に活用。

町が実施する公共事業に必要な資金を調達するために発行する地方債（借金）の一つです。この地方債は東日本大震災を教訓に、全国レベルで防



若者交流センター（太郎布地内）



農業実習館（太郎布地内）

整備の財源確保にしていきたい。

教育費・リーディングスキル授業料

問 小・中学校での受験料8万円。年何回を予定。
答 教育長 初めての試みで各学校とも年2回を予定。日程については学校現場に任せています。

問 テストの対象は。
答 教育長 小学校は5・6年生、中学校は全年対象です。

年対象です。

※リーディングスキルとは・

事実や証拠に基づいて書かれた文章（教科書や新聞、説明書など）の意味や内容を正確に読み取る読解力のことです。具体的には、次の3つの要素が含まれます。

① 文章の内容を正確に理解する力・言葉の意味を理解し、文の構造を把握し、文章全体の意味を捉える力。

② 文章の意図を読み取る力・作者の主張や伝えたいことを理解する力。

③ 文章から情報を抽出する力・必要な情報を探し出し、まとめる力。

リーディングスキルは、単に文字を読むだけでなく、文章の内容を理解し、批判的に思考し、情報を活用するための基盤となる重要なスキルです。

健康づくり推進協議会委員

問 報償費13万5千円。

メンバの構成は。

答 保健福祉課長 健康増進法に基づき町が策定

する健康増進計画策定にあたり協議いただくメンバーで11名以内です。学識経験者、保健医療関係者、各種団体の代表者、関係行政機関の職員等がメンバーになります。

消防費・Jアラート受信機更新

問 工事請負費500万円の更新内容は。

答 総務課長 全国瞬時警報システムで国から、弾道ミサイル情報、緊急地震速報など対処に時間的余裕がない事態に対する情報を、いち早く住民にお知らせするシステムで、今回は、国のシステム更新に合わせて町のシステムも改修するもので、特段の変更はありません。



更新予定Jアラート受信機

報告

（株）奥会津金山大自然経営状況について

（町が50%以上出資している法人は地方自治法により毎年度、議会に提出しなければならない。）

問 毎年、この時期に単年度の事業計画書はいたしますが会社としての中長期的な経営計画は持っているのか。

答 農林課長 今後、法人の方と町でしっかり協議しながら作成したい。

問 昨年度、地域計画を作成しました。10年後の農地と耕作者を明記した計画のほすです。いろんな地域で中核的な農業法人であり地域計画を反映させた経営計画を作っていたきたい。

答 農林課長 基本的には10年後の目標地図を作成し、将来の担い手について考えていくという内容で、毎年度状況は変わってきますので、今後の意見交換の中で考えて行きたい。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件 名	議決 結果	大竹 一樹	安藤 雅朗	加藤 夕子	坂内 譲	栗城 康太郎	横田 正敏	五ノ井 義一
■第4回定例会（6月定例会） 令和7年6月13日～17日開催								
令和7年度金山町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません
財産の取得について （音声告知端末機器）	可決	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について （避難所用移動式スポットクーラー）	可決	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について （スキー場整備圧雪車）	可決	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について （除雪機械（ドーザ11t級））	可決	○	○	○	○	○	○	
■報 告								
株式会社奥会津金山大自然経営状況報告について								
■陳 情								
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	
「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	
国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	
■議員提出議案								
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	
「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	
「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	

議会会議録・一般質問動画（録画） 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#) [令和7年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信（録画） について

各議員（質問者）ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議
での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

（金山町ホームページ画面）

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#) [令和7年一般質問](#)



昨年行われた自然教育村会館でのイベントのようす
公共施設は町民を巻き込み利用、整理の検討を
(玉梨地区)

おお たけ かず き
大竹一樹議員の

一般質問



町の未来を見据えて

若手議員の提案に期待——町長

将来のために、積極的な自主財源の確保と、職員の確保、育成が重要と考える。

問 自治体主導の積極的な財源確保を、どのように進めていくか。

答 町長 ふるさと納税は平成26年度の80件31万8千円から、令和6年度1,278件1,542万6千円に増え、企

業版ふるさと納税も受け入れる作業を進めていく。

情報を収集しながら、当町に合った方法を探っていく。

問 職員が町の外に出て、

良い取り組みを持ち帰ることが良いまちづくりにつながると思う。

積極的に研修等への参加を促してほしいが。

答 町長 大変重要なこと、必ずやっていきたい。業務の進捗状況を見な

がら、研修研鑽をするよう職員に周知をしていく。

問 行政職員志望者に金山町を選んでもらうために、説明会でどのような話をしているか。

答 総務課長 若い職員に自身の取り組みやここ

で働く魅力を話してもらい、興味関心を持つていただき、受験に至れば大変ありがたい。

議員のひとこと

楽しく働ける環境があれば、人は集まってきます。

町有財産の整理を

文化財は観光や学びの場に——教育長

問 公共施設の維持管理や整理をどのように考えているか。

答 町長 整理が必要な施設については、用途変更や廃止を含め、適切に対応して参りたい。

問 条例通りの利用ができない状態の公共施設を今後どのようにしていく考えか。

答 町長 自然教育村会館やあすなろ館などは、設置目的に沿って十分な利用が図られていない。

用途を変更するなどによつて有効活用が可能かどうか皆様と協議を行いながら、可能性を探って参りたい。

問 文化財の利活用について、今後の道筋はできているか。

答 教育長 土器は文化財保存活用事業として専門アドバイザーに整理と調査を委託している。保管施設の整備は実現に至っていないものの、今年度学芸員の資格を持

つ地域おこし協力隊を配置できた。

昨年度は旧五十島家住宅の屋根葺き替えと、中丸城跡の登山道整備を行った。

観光や学びの場として活用できるよう、今後の方向性をしっかり定めていきたい。

問 文化財は子どもたちの教育のために使いたい。

縄文時代から受け継がれてきた金山の歴史をま

とめて展示したり、子ども向けの冊子にまとめたりにしていく考えは。

答 教育長 ゆくゆくは子どもたちに向けて冊子などを作成してまとめ、勉強する機会にしたい。

議員のひとこと

子どもたちの郷土愛を育むことが超重要です！



加工所が整備された旧横田中学校校舎
(株)奥会津金山大自然が利用(横田地区)



栗城康太郎議員の 一般質問

農業振興について

官民一体となって農業の6次化の推進に努めていくー町長

問① 新規就農者に対する町の支援は十分か。

答 町長 国や県の支援制度を活用するとともに、町単独補助金による支援を行っている。

問 新規就農者に対する農地バンクを介した農地の確保支援は。

答 農林課長 町としては、新規就農者に寄り添った形で探す段階から農地の確保をやらなければ

ならないと考えている。

農地バンクを通しての貸借が基本なので、相続登記等の不備で希望する農地について契約ができず、貸し借りできないような事態が発生した場合、代替地の確保も非常に重要でありますので、それも含めて就農者と相

談しながら進めていきたい。

問② 「農業の6次化」についての対策は。

答 町長 農業者自らが生産、加工、販売を行う場合と、農業者、加工業者、販売者が連携した形態があるので、今後も事

業者ごとの情報交換や連携を図りながら町内の農作物を活用した6次化を推進していきたい。

町では農林水産物活用生産・加工施設等支援事業補助金で、これまでに総額733万7千円を民間の加工所の整備や設備の更新に対して支援を行

ってきた。また、旧横田中学校校舎に新たな加工所も整備した。

任意団体の金山町地域資源農林水産物加工組合が設立されたので、官民一体となって農業の6次化の推進に努めていく。

職員の適正配置について

年度当初に適正な配置を行っているが、実情により年度途中で変更せざるを得

ない場合は全体的な状況を踏まえて調整を行いながら対応していくー町長

問① 職員採用における課題とその解決に向けての対策は。

答 町長 近年、採用直前に辞退届が提出されるなど、採用試験の合格者が4月の採用時に職員として勤めていただけののか、確実な見通しが立たないという懸念がある。

また、資格免許職、特に保健師などの採用が非

常に難しい状況となつて

いる。このため、一般職については、中期的な中で採用人員の調整を行うよう対応している。

問② 正規職員、会計年度任用職員、再任用職員の配置のバランスをどう考える。

答 町長 当該年度の各課・係における業務の実

情にに応じて、年度当初に

人事異動により正職員を配置し、それぞれの係において補完する人員が必要な場合には、会計年度任用職員等を追加配置することにより体制の構築を図っている。

障はないのか。

答 農林課長 3名体制だったが、1名職員が亡くなり業務に支障が出ているとの認識を持っており、人員確保等を検討して参りたいと思う。

議員の一言

人に寄り添う真のリーダーシップに期待します。



「おもてなし事業」を活用して起業した
農家民宿玉川屋
薪ストーブなどを整備しました(横田地区)

ばん ない ゆずる 坂内 議員の 一般質問



空き家対策について

空き家所有者に適切な管理を——町長

問① 第三期総合戦略を踏まえ、今期から重点的に空き家対策を進めていくことは。

答 町長 空き家を資源とした利活用と、空き家解体の両面から空き家対策を進めていきます。また、空き家の適切な管理は所有者の責務であるとして法律に明記されており、引き続き、空き家所有者に適切な管理を行うよう

う、周知を図って参ります。

問② 国が提唱している「高付加価値化で持続可能な地域づくり」へ繋げていくことこそ、当町のような山間部には有効な手段ではないか。

答 町長 全国的には、空き家を通常の住居として活用するほかに、宿泊施設やコミュニティスぺ

ースなどへの再生を行い、地域の活性化に活用する取組みを行っている事例があります。町内でも国の補助を受け、空き家を宿泊施設に改修して利活用に繋げる事業を実施している民間団体もございいます。町としても、昨年度「おもてなし事業」を立上げたことにより、宿泊施設や観光客対象の

事業など、空き家を住居以外に活用することも支援できます。

問③ 様々な施策を行うにおいて、マンパワーが絶対的に不足していると思います。移住者を含めた外国からの労働力への積極的な対応も求められています。町としてのマンパワーの確保の意気込みは。

答 町長 町の将来を見据えた時、マンパワー確保は非常に重要であると認識しています。今後移住者増加に向けて環境の整備や支援制度の充実、定住を促すため子育てしやすい環境づくり、各種産業の後継者確保対策、町内での起業促進など、その時節にあった施策を行っていく考えです。

町内の地域資源を生かした産業への現状と支援について

各分野に支援している——町長

町には奥会津金山赤力ボチャ、エゴマ、ヒメマス、カスミソウなど特産品が多くあります。しかし、生活の基盤にするほどの売り上げが見越せるような事業になっていません。日本全国担い手、後継者不足は一緒です。チャレンジして欲しいが

答 町長 農業分野では、

地域特産農作物のブランド力向上を図り収益力を強化する取組みを支援しております。また、一定規模の農地を維持する者が対象の農業経営支援事業や多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金などの国の事業の活用、中小規模農業者などの人材確保を目的とした「農業

を担う者支援事業」による就農支援など、様々な支援を行っております。新たな施策はありませんが、持続可能な体制を構築するため今後も引き続き支援したいと考えています。

次に、商工業では、只見線や温泉、炭酸水などの金山ならではの資源を活かした観光産業があり

議員のひと言
先進地の取組みをお手本に、早急に対応を期待します



あん どう まさ あき

安藤雅朗議員の

一般質問

保育の質の確保と向上について

課題は保育士の確保―町長

問① どのような指標で保育の質を評価しているのか。

答 町長 金山町立保育所の保育理念は、「子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され地域に愛される保育所を目指す」。であります。「豊かな人間性を持った子供を育成する」という方針のもと、具体的には、「1 明るく元気な子」「2 思いやりのある子」

「3 考える子」

「4 がんばれる子」を保育目標としています。

更に、クラス別に保育目標を定め、保育の質の確保、向上に取り組んでいるところです。保育の質の評価ですが、保育所では年間計画、月次計画により、子どもの保育に対する目標を立て、月末に保育の振り返りと反省、反省の中での課題の確認を行い、次月計画に活かしています。その他、各種マニュアル、安全計画を整備し、職員全体で共有し共通の意識を持つことで、児童、保護者に対して、全職員同じ視線で向き合うことができると考えています。それらの計画や施設整備の状況については、毎年会津保健福祉事務所による監査もあり、評価、改善点の報告を受けています。

問② 子ども一人ひとり

を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育所を目指す」と謳っている以上、自己評価や保育全体の振り返り評価を公表すべきと考えるが。

答 保健福祉課長 今現在、保護者に行っている内容等も含め、他町村の状況を見ながら、どのような公表の仕方が良いかということの研究しながら進めていきたいと考えています。

問③ 保育士のキャリアアップの支援については。

答 町長 保育所内での研修会、両沼、会津支部などでの研修会を通し、個々のスキルアップを図っています。今後も研修会に参加できる体制の確保に努め、児童の健やかな成長のため取組んで参ります。

問④ 担当課職員の定期的な訪問による信頼関係

の構築について。

答 保健福祉課長 私保育所長が、各種行事、イベントには欠かさず参加しています。月1回の打合せ会にも参加し、対面で保育士の話を聞いています。

問⑤ 土曜、延長保育の受入れに課題はあるか。

答 町長 延長保育、土曜保育受入れの課題ですが、時間外とはいえ配置基準に沿った複数の職員配置が必要であり、時間外シフトによる職員の仕事と生活のバランスが取りにくいこと、長時間保育による保育の質と未満児対応時の安全性確保の問題などが挙げられ、保育士又は臨時の保育士の人材確保が難しくなっている要因になっております。

問⑥ 横田保育所再開に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 町長 一番の課題は

保育士の確保です。今後は、県内の保育士養成課程のある教育機関へ、就職活動が開始されるタイミングをはかり、募集要項等を送付し訪問等による説明で保育士の確保に努めていきたいと考えています。

問⑦ 募集年齢の引き上げ等人材確保に工夫をすべきでは。

答 町長 募集の資格要件、具体的には年齢かと思いますが、今いる保育士さんの年齢構成などを見ながら対応していきます。とにかく保育士の確保については、我々ももしっかりやりたいと思っています。

議員の一言
無償化だけではなく、質の担保を！

子どもたちと遊ぶ保育士(川口保育所)
保育士は、子どもの相手から保護者のサポート
と大変な責任が求められる仕事です



J R会津川口駅前「みんなのトイレ」
おむつ交換台がありません。早めの整備を

加藤夕子議員の 一般質問



子育て世帯の経済的負担

経済状況に対応し取り組むー町長

問① 月額5,000円の手当について。

答 町長 乳幼児紙おむつ等給付事業として子育て世帯に対して、一定の支援ができたこと認識しています。手当額について、現在の物価等高騰の状況を踏まえ、子育て世帯の経済的な負担を少しでも軽減し、安心して子育てができるように取組んで参ります。

問② 乳幼児向けチャイルドシート貸出しの充実について。

答 町長 現在、乳幼児から4歳程度までを対象としたチャイルドシートが17台、4歳程度から6歳程度までを対象としたジュニアシートが9台で、毎年10件程度の利用実績

があります。更新の際には、利用者の需要に合ったものを選定して参ります。

問③ 子育て世代が安心して滞在できる環境整備について。

答 町長 町内観光施設のおむつ交換台は、現在、

道の駅、せせらぎ荘、沼沢湖畔キャンプ場、大塩炭酸場トイレの4箇所に設置済みです。トイレ内のベビーチェアもほぼ同様の設置数です。特に観光客の利用が多い、会津川口駅前の公衆トイレはベビーチェアのみで、今後は、おむつ交換台を整

議員のひと言
『ここで育ってよかった』と誰もが思える家族に寄り添う町を目指して

交通インフラ寸断下の観光客誘致と地域経済の持続可能性について

町に繋がるルートの多様化を進めていきたいー町長

問① 去る2月の大雪による只見線の約3カ月間の長期不通、更には国道252号「出逢橋」の流失による当面の通行止め。加えて国道289号八十里越の開通についても来

秋という予定で確実性に対する不安もあります。

答 町長 只見線の長期不通や国道252号の通行止めによる町の観光業界のダメージは、ゴールデンウィークに重なった

問② 只見線の度重なる運休は観光客誘致の大きな足かせとなっている。冬期間の安全運転確保、

柔軟な運行ダイヤの検討、除雪体制の強化など町として、J R東日本や福島県に対し具体的にどのような働きかけを行っていく考えか。

答 町長 J R只見線は、記録的な豪雪とはいえ、ここまで長期間の運休はありませんでした。運休期間中も、福島県に対して除雪体制の充実、代行バスの運行、雪崩対策などについて、担当部署に

話をし、会津総合開発協議会の要望活動でも伝えております。

また、只見線利活用推進協議会では、この長期運休によるインバウンドを含めた観光面や住民生活の影響、今後の除雪・豪雪対策など発言しました。今後も様々な機会を捉え、積雪時の安定した運行について働きかけを行って参ります。



平坦箇所では除草作業が容易にできる乗用草刈機
希望地区に配置し、負担軽減を
(玉梨地区作業写真)



よこ た まさ とし
横田正敏議員の

一般質問

情報発信の強化について

問① 町外の人や海外の人

に魅力を伝えることで、移住者や観光客そしてインバウンドの増加が期待できる。地域活性化のための情報発信の強化についてどう考えているか。

答 町長 町では広報紙、お知らせ版などの紙媒体のほか、町ホームページの運営、ふるさと情報発信事業、公式ラインの運営などを使った情報発信

を行っています。

特にSNSは、全国、全世界へ情報発信ができることから、移住希望者やインバウンド客に情報を発信することで、町への移住者や観光客が増える効果が期待できます。

目的やターゲットに合わせた情報発信力強化に取り組んで参ります。

問② 新聞に町の話が

少ない。戦略を練るべきではないか。

答 町長 課長会でも情報発信について指示しています。再度情報発信に取り組むよう改めて職員に徹底させたい。

問③ 県が公表した4月1日現在の子供の数で、

今以上に取り組むー町長

人口に対する子供の割合が当町は最も低い4.7%である。子育て世代の移住者を呼び込むためにも、教育の魅力化・特色化が大切と考えるが教育長の考えは。

向上が考えられます。PRが本場に大切で、学びの18年のパンフレットは移住する選択肢の一つになるようなものを形にしたいと考えております。

答 教育長 移住を決定する決め手としては、子育て支援制度の充実や、子どもの教育、知力学力

農業振興について

新たな支援制度を考えるー町長

問① 地区の普請や多面的機能支払交付金による

共同作業の草刈りが深刻度を増している。草刈り問題の解決のために何らかの方法を講じる必要があると考えるが、町長の考えを伺う。

答 町長 地区では、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金などの国の事業を活用して農地等の維持を行っ

ています。

今後は、各地区の普請や共同活動で対応する範囲を再点検し、より効率的な農地の維持、集落環境の保全が可能となるような対応を考えて参ります。

問② 集落営農組織へ乗用草刈り機の整備をできないか。

答 町長 除草作業が容

易に出来る機械の導入について、今年中に素案づくりをしながら対応したいと思っています。

問③ 農業機械を更新するタイミングで、その投資の判断が出来ずに離農する方が多いです。農業機械補助金はあるが、小規模、個人には該当しません。今の農業機械の補助金制度で良いのか。

答 町長 今の制度が良いとは思いません。支援制度には資格要件が必要です。営農意欲のある方を救ってあげたいとの気持ちでおりますので、支援制度について前向きに研究していきたいと思

議員のひと言
冬は小型除雪機械 夏は乗用草刈り機の整備を

常任委員会管外視察研修報告(要約)

総務文教常任委員会・産業建設常任委員会(合同)

7月7日～9日実施

研修目的

学校跡地有効利用や地域資源のユニークな活用事例を研修し、今後の議会活動に活かしていきます。

鳩ノ巣JRR丸ごとホテル
(東京都青梅市・旧青梅線沿線)
(東京都青梅市)

無人駅の駅舎をホテルとして活用するユニークな事例です。鉄道資産の再活用と、地域への誘客を両立させていました。



各駅舎にある沿線まるごとホテル

NIPPONIA
小菅源流の村
(山梨県小菅村)

古民家を改修した分散型ホテル。地域全体をホテルに見立て、村の資源を活かした滞在型観光を推進していました。

小菅村ポイントカード
(山梨県小菅村)

村内で利用できる地域通貨のようなポイントカードシステム。地域経済の循環を促し、村民の購買意欲を高める工夫がされていました。



NIPPONIA 崖の家



NIPPONIA 大家入口

小学校跡地有効活用事業
(山梨県北杜市)

閉校した小学校の校舎・校庭を、多目的な複合施設として利用しています。地域住民の交流拠点、企業のサテライトオフィス、観光施設など多様な機能を組み合わせました。



小菅村ポイントカード



研修の様子



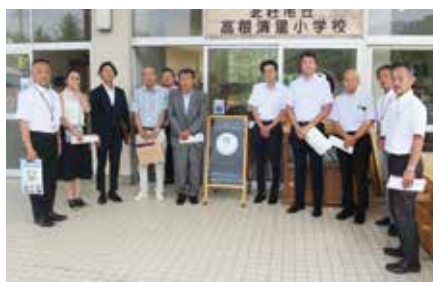
施設活用の一例



施設借受者からの説明



研修の様子



学校跡地での集合写真



施設活用の一例

総務文教常任委員会及び産業建設常任委員会からの管外視察報告書は、9月定例会で報告の後、次回議会だより(第231号)に掲載いたします。



議会議員 加藤 賢享 氏 逝去

議会議員 加藤賢享氏が、現職中の令和7年6月8日にご逝去されました。平成27年に初当選され、2期6年にわたり議員活動に精励され、産業建設常任委員会に所属し活動されてきました。ここに生前の功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■両沼地方町村議会議員大会に参加

7月24日、昭和村公民館において両沼地方町村の議会議員が一堂に会し、来賓(国会・県会議員、7町村長、関係機関関係者)多数の出席を得て開催されました。

両沼地方町村議会議長会長 (金山町議会議長・ 五ノ井義一)あいさつ

・人口減少、少子高齢化の進行、基幹産業である農林業の衰退、長引く物価高騰、道路・河川改修等生活インフラの整備など、課題が山積。
・議員のなり手不足が深刻化しており、職業の両立、議員活動に対する環境整備が必要。
・地域課題に対応するための政策立案機能の強化やデジタル技術の活用も課題。

(両沼地方は会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・昭和村・金山町の7町村です。)



両沼地方町村議会議長会長としてあいさつする五ノ井義一議長
大会に出席の来賓の皆さま
森まさこ、星北斗の各国会議員・山内長、猪俣明伸の各県議会議員
福島県、両沼7町村の各町村長 ほか多数出席いただきました

金山町議会提出 要望事項

提案理由の説明 (安藤雅朗議員)

金山町議会からの提出
要望事項は次のとおり
で、採択されました。



提出議題を説明する安藤雅朗議員

①地域住民が安全で安心できるよう只見川圏域河川整備の計画の速やかな実施について
(一級河川只見川は平成23年7月発生の新潟・福島豪雨で甚大な被害をもたらした。早期の完成と連続した予算の確保を要望。)

②一般県道布沢横田線の整備促進について
(冬季交通不能区間約7kmの早期解消、松坂峠のトンネル化整備を要望。)

③一般県道小栗山宮下線の整備促進について
(国道252号の迂回路として重要な道路。冬期間でも安全に通行できる整備の要望。)

議員との懇談会「おらほの議員としゃべってみませんかの会」開催しませんか

金山町議会議員は、令和5年12月に改選されました。7名(欠員1名)の議員の当選回数も1~2回と少なく、議員の平均年齢も54歳と比較的「フレッシュ」な議会となっています。

そこで ・高齢化率の高い町での町づくり、地域づくり

・持続可能な町づくり、地域づくり

・若者が少ない町での町づくり、地域づくり

・日頃考えている提案、アイデア などについて

地区の皆さんからのご意見、ご要望をお聞きするため、地区に出向いて「おらほの議員としゃべってみませんかの会」の開催を計画いたしました。今年度は行政区単位の開催となります。開催を希望される地区の行政区長は金山町議会事務局(tel 54-5341 fax 54-5345)までご連絡願います。



自治体がスナックを直接経営する？ 金山町活性化への新たな案

「自治体がスナックを経営するなんて？」私も最初はそう考えました。金山町に暮らす中で、夜の交流スペースが少ない現状を見ると、自治体が営利目的でスナックを直接運営するのは、法的制約や公平性の問題、複雑な規制から現実的ではありません。自治体の役割は公共サービスの提供ですから、当然の結論です。

しかし、金山町に不足している夜の交流の場や、観光客が地元の人々と触れ合う機会を考えると、スナックが持つ「気軽に立ち寄れて、会話が生まれる空間」という機能は、非常に魅力的だと私は確信しています。では、どうすれば自治体がこの魅力を、健全な形で地域活性化に活かせるのか？私は熟考し、以下の2つの案に辿り着きました。

1..空き店舗や賑わいの少ない店舗を活用した「地域交流スナック」の創出支援
金山町民が主体となって運営する「コミュニティスナック」を開設することを自治体が支援してはどうでしょうか。

日中は地域の高齢者が集う喫茶スペース、夜は地元の人や移住者が気軽に立ち寄れるバーやスナックのような役割を担えます。多世代交流の拠点として機能することで、地域に新たな賑わいと雇用を生み出せます。

2..観光誘致と連携した「体験型・地酒バー」の推進

観光客を呼び込むため、金山町の特産品である地酒や地元の食材を活かした「体験型・地酒バー」の誘致や運営支援を強化することです。単なる飲食店ではなく、例えば金山町民がカウンターに立ち、観光客に町の文化や歴史、人々の暮らしを語る「語り部」となる場所をイメージしています。

自治体は、このようなユニークなコンセプトを持つ店舗に対し、開業支援や広報協力を行うことで、地域全体の魅力を高めることに繋がると思っています。

金山町の皆さん、ぜひこのような取り組みを通じて、私たちの町に新たな賑わいと交流の場があったらいいな。と思いませんか？

(加藤夕子)

町村議会広報研修会

7月1日、郡山市のビックパレットふくしまで開催され議会だより編集特別委員が参加し、「戦略的広報と議会報づくりの型」について研修しました。

少しでも読者に読みやすい、わかりやすい紙面づくりを目指していきます。読者の皆様からのご意見をお待ちしております。



研修会参加の編集委員

ごあんない

次回の定例会は、9月5日ごろ開会の予定です。
一般質問は9月8日ごろからとなります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井義一

〔編集委員〕

委員長 横田 正敏

副委員長 安藤 雅朗

委員 坂内 一樹

委員 大竹 一樹

次回、金山町議会だより

第231号は、11月上旬ごろ発行の予定です。